

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念の共有、実践の為に目の触れやすい場所に掲示している。施設らしくあるのではなく「家」に近づけるために、「あなたらしく」を大切に、生活をささえられるよう利用者の思いに寄り添い、会話の機会を多く持つよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域行事には、積極的に参加してきた。顔見知りの方と会い、近況報告の場にもなっていた。小・中学生の生徒との交流学習の機会も増え、利用者の楽しみとなっていた。近隣の方から野菜のおすそわけを頂くことも増えた。しかし、新型コロナ感染予防のため現在も控えている。近所を散歩することは続けている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ感染予防のため書面にて報告を行っていたが、今年度から会議を再開し意見をいただいて現場に情報を伝えている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の委員でもあるため、会議を通じて状況説明を行い指導をいただいている。法解釈やケースのことも相談に乗っていただいている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会を3ヶ月ごとに開催し、身体拘束しないケアの実践に取り組んでいる。拘束をしないケアの意識を高めるために、「意識シート」を作成し意見をあげてもらい、委員会で検討後、業務カンファレンスの中で周知を図り、職員一人一人が意識し介護に当たっている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	チェックシートを作成し意識を深めている。 一人一人に寄り添って丁寧にかかわっていることがわかる。 定期的に会議が行われており、意識を高め情報交換ができています。 コロナ対策で仕事量が増えている中でよく対応されている。	

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スピーチロックにならないよう利用者に対する言葉づかいに注意している。更衣時、入浴時等時には、身体観察を怠らないように気をつけている。内出血を発見した際は事故報告書を提出し事故検討委員会において原因と対策について協議し、スタッフへ周知している。職員のメンタルケアにも配慮し意見を身体拘束廃止委員会へ上げている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>高齢者の人格を重んじ言葉使いに注意しながら関わっていることがわかる。</p> <p>言葉の暴力は心のキズになるのでそのことにも注意して対応している。</p> <p>事故対応、職員のメンタルケアと多岐にわたる内容であるが徹底できている。</p> <p>危険回避の「ちょっと待って」は当たり前で問題になるのか？</p>
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月行っている勉強会のテーマに権利擁護を定期的に入れて知識の共有化を図っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者・家族の不安軽減のため、契約前に施設に来て頂き、見学や施設環境を理解して頂くよう心がけている。契約時には十分な説明を行い、了承を得た上で、契約を交わしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染防止を施しながら家族の面会を再開した。職員から積極的に声かけし、話しやすい雰囲気作りに心がけている。担当職員から毎月「花の器便り」や「咲くやこの花」をお渡しすることで日々の生活の様子などを伝え、家族に安心してもらえるよう努めている。家族からの要望にも迅速に対応出来るよう努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>面会ができるようになり良かった。</p> <p>「咲くやこの花」やInstagramで利用者の笑顔や生活の様子を見ることができてとても良い。</p> <p>「咲くやこの花」は自治会内にも回覧しており、介護を必要としている人が見ることで利用相談し易くなる。</p> <p>利用されている家族の委員さんから毎回感謝の言葉が聞かれる。</p>
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設全体の会議や、業務カンファなどで職員の声を聞く機会を設けている。業務の中で発生する疑問や意見、提案などには話し合い、迅速に対応することに努め、			

				職員のストレスに繋がらないように心がけている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者は毎日フロアに度々行き職員の状況・職場環境の把握に努めている。利用者の担当制や各委員会に所属することで責任を持って仕事に取り組む環境作りに努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員のほっとできる場の設置により、リフレッシュして仕事に戻れることや、コミュニケーションが円滑になったりするので、引き続きより良い職場環境の整備をお願いしたい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月の勉強会や委員会などでは、職員自らが学びたいことや伝えたいことをテーマに掲げ、スキルアップに繋がっている。又、福祉に関する講演会や勉強会などの案内を掲示して、時間があれば参加し、スキルアップ・モチベーションに活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月勉強会があることにより職員のスキルアップが図れるので続けて欲しい。 介護福祉士の資格を取得した職員も出ておりスキルアップにつなげて欲しい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部研修の情報を伝え希望者は参加できるよう努めている。施設内会議や勉強会の時などに、報告を兼ね、発表の場を設けている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者に関わる時間を持つことで、本人の「想い」や「力」を知り、大切な共有時間となっている。簡単な掃除や茶わん拭きなど、その人の出来ることを探し一緒に行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域行事や、家族との交流へは積極的に参加してきたが、新型コロナウイルス感染予防のため外出や交流事業は自粛している。			

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の関わりから、どの様に暮らしたいのかを汲み取り、「あなたらしく」生活が送れる様支援に努めているが、高齢化と認知症の重			
----	----------	--	---	--	--	--	--

				度化で把握が困難な利用者が増えてきたり、帰宅願望の強い時の対応に苦慮している。ケースカンファを実施し、その方の望む生活に近づけられるよう努力している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期、及び随時カンファレンスを行い、本人の心身の状態変化や新たな要望等があった時は、その都度、見直し検討を行っている。その為に、職員からも積極的に意見を出し合い、支援に繋がるよう努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者をスタッフ全員で見守っていることがわかる。 カンファレンスでは活発な意見交換がなされている。 カンファレンスに参加できない職員のために日程調整も必要である。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	記録を「生活」「医療」「連絡」に分けることで、急な体調変動や服薬変更の件などで見返りがスムーズに行えている。その中から得られた結果や気づきをヒントに、新たな課題の発見や解決に繋がっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	記録方法を工夫し職員の情報共有や課題の発見しやすさを実践している。 今後も個別の記録を活かし、さらに職員間でも情報共有しより良い支援につなげて欲しい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	帰宅願望や不穏など、その時によって生じるニーズに対して、その都度、職員間で話し合い、ドライオブに行つて気分転換を図ったり柔軟な支援に努めている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的にボランティアに来て頂いていたが、感染防止のため控えている。裁縫の得意な方には、衣類のほつれを直していただき、掃除の好きな方には手すりを吹いていただく、また食器拭きなど、本人の持っている「力」を発揮し、やりがいと自分らしい生活を送れるよう支援に努めている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人・家族が希望するかかりつけ医に継続受診している。家族のみでの受診が困難な場合や急な体調変化で受診が必要な時は、職員が対応する等、連携できて			

				いる。利用者の重度化により訪問診療に切り替えた方が増えてきたが、体調に変化がある時にはDrと連絡を取り指示に従ってケアできる体制になっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院した際は、サマリーにて情報提供している。感染防止のため病院へは行けないので、必要に応じて病院に問い合わせを行い、情報把握に努め、得た情報は記録に残し、職員間の情報共有と、退院後、スムーズに受け入れられるよう備えている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族が不安や心配な時、相談出来たり力になってくれたり心強い存在である。 コロナ対応で手間がかかる状況でよく対応している。 引き続き医療機関との協働をお願いしたい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	訪問診療を受けている利用者が終末期を迎えた際、ご家族の希望に応え施設において終末期ケアを提供した。その際、ご家族の望むようなケアの提供ができるよう、ご家族・施設・主治医が連携し役割を果たそうと努めた。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ターミナルケアには家族・主治医・施設の連携、役割分担、対応の合意が必要であり良く関わっている。 終末期を迎えた方にもスムーズに対応できるよう職員間での情報共有をお願いしたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ前は消防職員の指導にて、「心肺蘇生法」を学ぶ機会を設け、マニュアルもあるが、いざというときに自分の判断で適切な対応がとれるか不安がある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災を想定した避難訓練を年2回、夜間を想定した訓練と水害時を想定した訓練も実施した。防災委員会では食料等の備蓄に努め、避難所となるコミセンと協定書を結び、水害時の避難所となる医王寺も視察した。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	清州コミュニティ推進協議会防災部会による「防災講演会」に参加して災害発生時の対応等参考にしてはどうか。 災害時に地域と協力し合えるような体制を作って素晴らしい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お一人お一人にきちんと向き合い、訴えを受け止めるよう心掛けている。肯定的な声かけをし、ゆっくり、そしてはっきりと、穏やかなトーンで話しかけるようしているが、同じ訴えを繰り返す利用者への対応に苦慮している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人一人の人格を重んじ丁寧に関わっていることが分かる。 同じ訴えを繰り返すことが目的なのか、繰り返すことで不安や体調不良を訴えているのか配慮が多くて大変だが受け止めることを継続して欲しい。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員主導にならないよう利用者目線で物事を考え、その日の心身の状態に応じた過ごし方を尊重し、気分を乱すことのないように、そして、無理強いせず、何をして1日を過ごしたいのかを自分で決めて、実行できるよう必要な支援体制づくりをしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	支援者からいただいた食材でデザートを作ったり、手作りケーキで誕生日を祝ったりしている。テーブル拭きや食器拭きのお手伝いをしていただき力の発揮や達成感につなげている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	キッチンがホールに近く料理のにおいも感じることで食の楽しみを持たせる工夫がされている。食事を楽しむ工夫が沢山されていることが分かる。みんなで調理することは喜びが大きく施設の利点である。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日、食事と水分の摂取量をチェック表に記入し、一人一人の栄養状態の把握に努めている。食事摂取低下気味の方には、献立にこだわらず食べたいものを聞き、体調に配慮した調理法や食事形態にし、栄養補助食品も取り入れ柔軟に対応している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一部の方は毎食後の声かけで歯磨きをしていただいている。磨き残しの確認や仕上げ磨きを職員が行っている。ご自身で出来ない方は毎食後介助にて口腔内の清潔保持に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔内の清潔保持は、口から食事を摂れていることによる体力保持や誤嚥性肺炎の防止などに役立つので、これまで通り利用者一人一人に合わせたケアをお願いしたい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄チェック表に基づき、個々の排泄パターンに合わせ、早めの声かけや誘導、見守りを行い、トイレでの自立排泄に向けた支援に取り組んでいる。加齢に伴う筋力低下で間に合わない方、行ったばかりでも忘れてしまい訴えを繰り返す方が増えてきた。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自立排泄に向けた支援を続けていることは本人の尊厳を守るうえでも重要な要素である。トイレでの排泄行為もリハビリになるのでしょうか。一人一人の体調を見ながらのケアは苦勞が多いと思う。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の体調や気分配慮しながら誘導し、本人のペースで入浴を楽しんで頂いている。声掛けしても入りたくない場合は無理強いせず、時間や日にちをずらして対応している。利用者によっては安全安心のため二人体制で行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の生活ペースを大切にしている。日中は日光浴や散歩、体操などで身体を動かし、夜間良眠できるよう生活リズムを作ることに努めている。日中傾眠が強く見られる時は、居室で静養して頂き、室内の温度・湿度に配慮している。又、天気の良い日は寝具の天日干しを行い、気持ち良く休めるよう心掛けている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	誤薬がないよう職員同士で声掛け確認し、誤薬、飲み忘れのないようチェック表に記載し再確認している。配薬書や薬情書ですぐに確認できるようファイルにとじてあり、内服変更時もすぐに差し替え、周知できるようになっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>誤薬予防の二重三重のチェックや職員の情報共有・連携方法など工夫が多くよく対応している。</p> <p>医者の処方した薬と違った薬を処方され体調不良になった家族がいた経験から、服用する前の確認の必要性を感じている。</p>
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	庭に小さな畑を作り野菜の苗を植え水やりなどの世話をし収穫している。裁縫の得意な方にはつくろい物や布巾をお願いしている。床のモップ掛けや手すり拭きなど職員と一緒にしたりして、毎日の生活の中から、やりがいを持って生活して頂ける様にしている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染対策を施し、個々に散歩やドライブなどで気分転換を図っている。初詣やお花見など少人数ごとに行っている。家族と			

		人々と協力しながら出かけられるように支援している		の外出や自宅に帰ること。また、地域との交流は自粛している。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家の遠い方や、面会になかなか来れない方のみお金を預り、出納長を作成し施設で管理している。所持金がないと不安になる利用者は家族の了承のもと自身で所持している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人希望時、電話に取り次いでいる。職員がご自宅に繋ぎ、やりとりをしていただいている。面会の自粛に伴いリモートでの通話ができる環境にしたため活用している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室内は個々にベッドや手すりの位置を変え転倒防止に努めている。季節折々に合わせ貼り絵を作成したり、室内に装飾を施して季節感を大切にしている。また、行事の際に撮った写真や誕生カードなどを飾り生活感を出している。オレンジ系の照明を用い温もりのある安心した空間づくりに努めている。庭の花を眺めて過ごす方もいる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	安全に対する取り組みがあり、安心して暮らしていけるよう今後も続けて欲しい。 建物内は明るくて居心地の良い環境と思う。	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用情報や日々の関わりから、どの様に暮らしたいのかを汲み取り、「あなたらしく」生活が送れる様支援に努めている。帰宅願望の強い新たな入所者や、把握が困難な重度者も増えてきて、その方の望む生活に近づけられるよう努力しているが、十分とは言えない。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者の基礎情報や、家族からの聞きとりから、以前の暮らしぶりを情報収集し、本人に合った生活環境を作るよう努めている。又、日常生活の中でも、会話や写真などから生活歴を知ることができ、その情報も記録に残し、職員間で共有出来ている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の生活スタイル・健康チェック・コミュニケーション・ADL 状況の変化等を記録に残し、必要に応じて申し送りなどで情報共有し、本人の現状把握に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	健康チェックや多岐にわたる配慮があり、個別対応ができていると思う。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員主導にならないよう利用者目線で物事を考え、その日の心身の状態に応じた過ごし方を尊重し、気分を乱すことのないように、そして、無理強いせず、何をしたいのかを自分で決めて、実行できるよう必要な支援体制づくりをしている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自宅で使用していたテレビやタンス、仏壇などを持ち込むなどして好みの部屋づくりをしている。絵画・書道・家族との写真などを飾り自宅の環境に近づけている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の心の安定や拠り所になる物があると生活の実感がかめるので今後もきめ細やかに個別対応してほしい。 自分の「居場所」があると安心して生活することができると思う。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍において外出は原則禁止としているが、散歩や庭で日向ぼっこをしている方がいる。また、家族のお祝い事や葬式等には参加している。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各居室には、表札が設けられていて、自身で確認出来るようになっている。必要箇所には、手すりを設置したり、トイレまでの道筋を廊下にテープングしたりして、安			

				全に生活が送れるよう、又、利用者の行動を妨げることのないよう配慮している。個々の機能に合わせたお手伝いや体操などを行っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	気の合う利用者さん同士を隣の席にすることで会話が弾むようにしている。また、折り紙、貼り絵、裁縫、お掃除、食器の片づけなど好きな活動ができるよう支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	指先を使うことで脳が活性化し認知症の予防や物忘れに効果があると思うので良い取り組みだと思う。好きなことが出来、話せる人のいる環境は理想なので続けて欲しい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	地元の小学校、中学校の子ども達や、地域の行事に出向いて交流してきたが、コロナ禍以降は交流の機会を控えている。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	帰宅願望の強い新規入所者は不安な時間も減ってきている。長く生活している皆さんも落ち着いて生活することが出来ている。また、ご家族からも入所して良かったとの感想を得ている。これからも安心して暮らせる環境づくりに努めていきたい。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入所者も落ち着いて生活し家族も良かったと思えることは施設の運営としては素晴らしいことである。地域の交流はまだ難しいと思われるが工夫してより良い日々を送れるよう支援をお願いしたい。